

教員氏名	勝浦 眞仁	職位	教授
最終学歴	京都大学大学院人間・環境学研究科共生人間学専攻後期博士課程単位取得退学		
学位	博士（人間・環境学）		
役職	大学FD委員長 将来計画委員会委員長	委員会	FD委員会・ゼミ委員会・将来計画委員会
担当科目	<p>（学部）</p> <p>障害児保育、保育実習指導Ⅰ（施設）、特別支援基礎論、知的障害児の心理・生理・病理、病弱児の心理・生理・病理、医療保育Ⅱ、発達障害の理解、総合演習ⅠAIB、総合演習ⅡAⅡB、卒業研究演習</p> <p>（大学院）</p> <p>障害児心理学特論Ⅰ・Ⅱ、課題研究</p>		
教科書・教材・教育方法の実践例	<ol style="list-style-type: none"> <li>moodleによる講義内容・映像のweb公開とフィードバック</li> <li>電子黒板を活用したアクティブ・ラーニングの実践</li> </ol>		
教育研究業績 主要10点	<ol style="list-style-type: none"> <li>“共にある”ことを目指す特別支援教育—関係論から発達障害を問い直す—, 2016年3月, 単著, ナカニシヤ出版</li> <li>子どもとむかいあう 教育・保育実践の記述、省察、対話, 2018年9月, 編著, Ratik</li> <li>特別の支援を必要とする子どもの理解 共に育つ保育を目指して, 2018年11月, 編著, ナカニシヤ出版</li> <li>発達障害のある人と共に育ち合う 「あなた」と「私」の生涯発達と当事者の視点, 2020年11月、編著、金芳堂</li> <li>接面を生きる人間学：「共に生きる」とはどうか, 2021年5月, 共著, ミネルヴァ書房</li> <li>合理的配慮の観点から考える発達障害のあり幼児への配慮—SCATを用いた保育者の話りの分析から—, 2018年9月, 共著, 国際幼児教育研究第25号, 61-74</li> <li>障害のある子どもをもつ親の揺れ動く心性を探る—一園のエピソードを両親と語ることを通して—, 2020年12月, 単著, 保育学研究第58巻(2・3), 167-178</li> <li>「きょうだいの会」における保育士の役割とは何か, 2021年3月, 共著, 医療と保育第19巻, 12-23</li> <li>障害児保育における実践知の拡がり—初任保育者と中堅前期保育者の熟達化比較から—, 2021年12月, 共著, 保育学研究第59巻(3), 35-47</li> <li>Exploring the Narrative of an Early Childhood Education and Care Teacher from the Perspective of Polyphonic Time, Japanese Psychological Research(in press)</li> </ol>		

所属学会	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 日本質的心理学会（編集委員会副編集委員長）</li><li>2. 日本発達心理学会</li><li>3. 日本保育学会</li><li>4. 国際幼児教育学会（編集委員会編集委員・評議員）</li><li>5. 医療保育学会</li></ol>
------	---